

1 スタートアップ支援戦略

(1) 施策方針

- 県内で新たなスタートアップを創出・育成する。
- 県外からスタートアップを呼び込むための環境を整備する。

(2) 重点取組

① 結びつける施策に力を入れる

- 関係者が連携・協調してオール静岡県で結びつける施策に取り組む

② まずは成功事例をつくり、ロールモデルを横展開する

- 大きな成長が見込まれる有望なスタートアップに対して、専門家による指導・メンタリングなどの伴走支援を実施し、成功事例を創出

2 戦略を踏まえた取組

戦略において重点取組に位置付けられた施策のうち、早急を実施する必要があるものは令和5年度から実施し、来年度以降の本格的な支援策の展開につなげる。

<結びつける施策>

- 令和5年度は、スタートアップを下支えする仕組みとして、「ワンストップ相談窓口の設置」とスタートアップ支援関係者による「ネットワークを構築」
- 令和6年度は、5年度に構築したネットワーク等を活用し、首都圏等のスタートアップと県内企業・自治体・県の先端産業プロジェクト等をマッチングする事業を本格的に展開

<成功事例の創出>

- 令和5年度は、県内からロールモデルとなる成功事例を創出するため、大きく成長する有望なスタートアップを選出する「ビジネスプランコンテストを開催」
- 令和6年度は、選出したスタートアップを大きな成長につなげるための伴走支援を実施（専門家によるメンタリング、県内企業や金融機関等とのマッチング、実証実験の場の提供等）

| | 結びつける施策 | 成功事例の創出 |
|-------|---|--|
| R5年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○ワンストップ相談窓口の設置 ○ネットワークの構築 | <ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスプランコンテストの開催 |
| R6年度～ | <ul style="list-style-type: none"> ○スタートアップと県内企業・自治体等をマッチングする事業を本格的に展開 | <ul style="list-style-type: none"> ○大きな成長につなげるための伴走支援 |

3 令和6年度以降の取組方針

令和6年度は、5年度に構築したネットワーク等を活用し、県内全域で「結びつける施策」や「アントレプレナーシップ教育」など様々な支援策を本格的に展開

<県外からスタートアップを呼び込む施策>

○県内全域を「まるごと実証フィールド」として、県内にある様々な地域資源を活用して首都圏等のスタートアップとのマッチングを創出

<県内で新たなスタートアップを創出・育成する施策>

- アントレプレナーシップ教育の一環として、高校生等を対象にした「起業部」を設置するなど、次世代のスタートアップとなり得る人材を育成
- スタートアップの特性や成長ステージに応じた様々な支援策を展開

4 具体的な取組

<県外からスタートアップを呼び込む取組>

【目指す姿】

◎県内の様々な地域資源を活かしてスタートアップとのマッチング機会を促進し、静岡県全体がまるごと実証フィールド・オープンイノベーションの場となる。

- 静岡県は山も海も湖もあり、多様な農林水産物のほか、ものづくりを中心とした産業も発達しているなど、地域資源の宝庫である。
- また、首都圏からのアクセスにも恵まれているといった他の地域にはない地の利があり、スタートアップにとっても魅力的な地域である。

《対応》

◎首都圏等のスタートアップに向けた積極的な情報発信

- ・首都圏等のスタートアップに対して、本県の魅力や支援の取組等を伝えるPRイベントを開催

◎県内企業・市町・県が持つ課題解決へのチャレンジを促す取組

- ・県内自治体が抱える地域課題や、企業が抱える課題やニーズ、リソース等をスタートアップに提示し、その課題解決につながる提案を募集することでマッチングに結びつけやすくする

【具体的な取組】

①県内市町の首長に向けたピッチイベントの開催

- ・ 県内市町から解決してほしい地域課題を募集し、その課題解決につながるアイデアや技術をスタートアップから提案してもらい、ピッチイベントに参加するスタートアップを選定
- ・ 市町の首長等が参加するピッチイベントを開催し、マッチングした自治体がスタートアップに実証実験の場を提供

②県内企業や県の取組とスタートアップとの共創支援

- ・ 県内企業や県の各所属から解決してほしい課題や、スタートアップと共創したい内容を募集し、スタートアップに提示
- ・ 共創に意欲のあるスタートアップから提案のあったプロジェクトのうち優れたものを選定し、共創の実現に向けた伴走支援を実施
- ・ 選定以外のスタートアップについても、県内企業や県の担当所属とのマッチングを行う

静岡県がまるごと実証フィールド

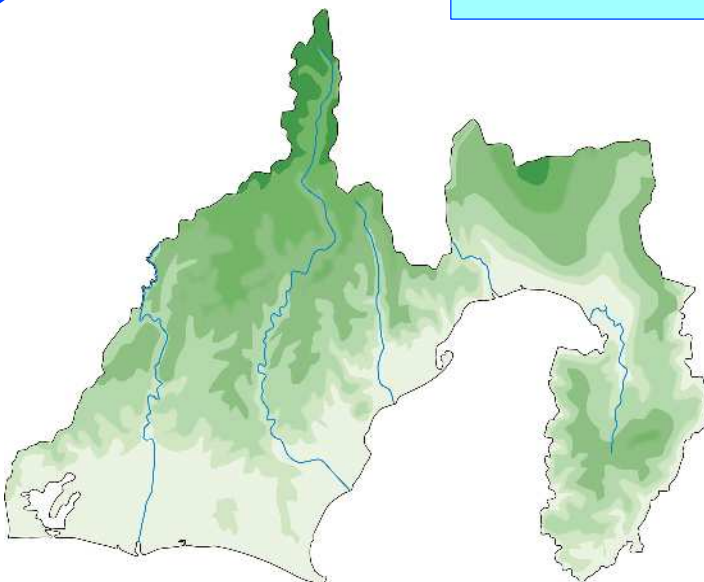
スタートアップ



課題や共創したい内容を提示

課題解決につながる技術やアイデアを提案

静岡県全域



- 県内企業が抱える様々な課題
- 県内自治体が抱える地域課題
- 農林水産業が抱える課題
- 海、山、湖などの自然を活かした取組
- 県の先端産業やものづくり企業との融合

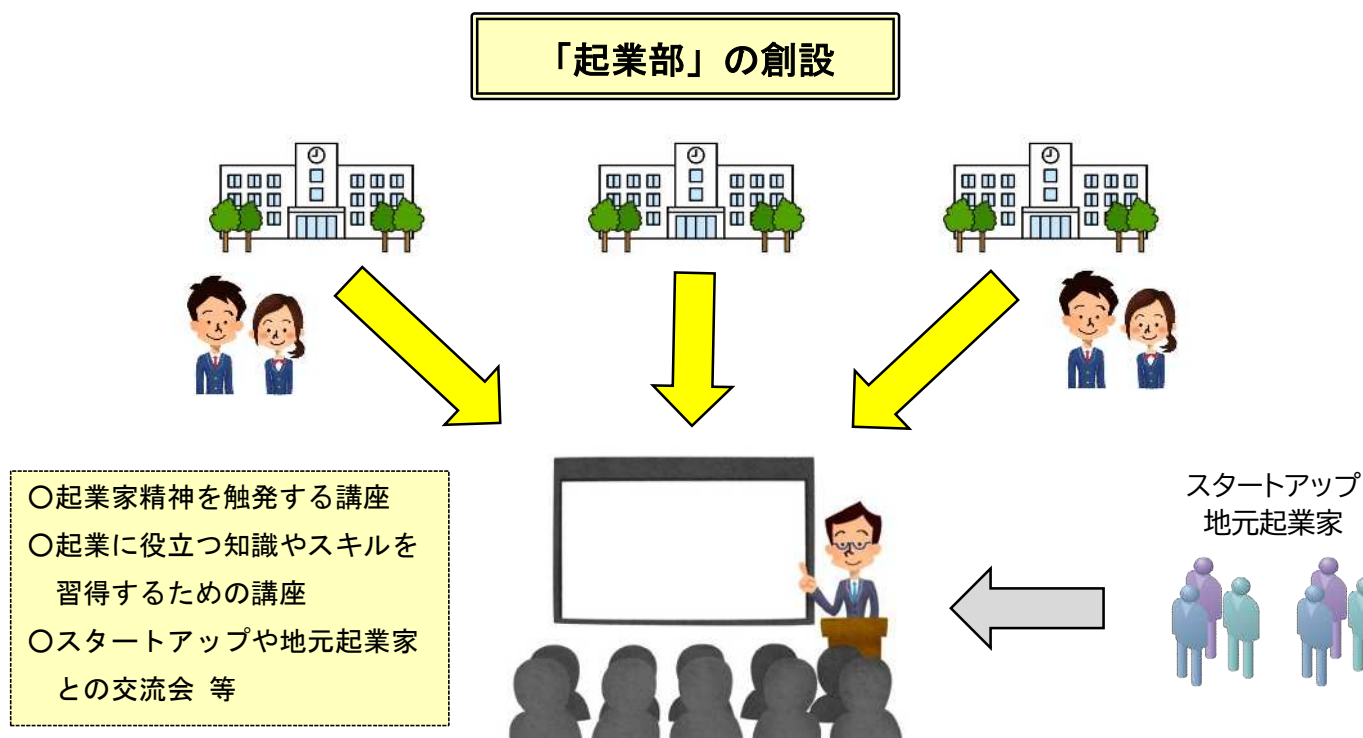
<県内で新たなスタートアップを創出・育成する取組>

(1) 次世代を担う人材の育成（アントレプレナーシップ教育）

【具体的な取組】

○地域部活動方式による広域的な「起業部」の創設

- ・ 学校の枠を超えた同年代の若者が参加する広域的な「起業部」を創設し、地域課題を事業プランにつなげる実践的なプログラム等を実施
- ・ 令和6年度はモデル的に県内で1箇所実施し、実施結果等を踏まえて、複数地域に展開していく。



(2) スタートアップの特性や成長ステージに応じた様々な支援策を展開

- 研究者と経営人材のマッチング支援
- エンジェル投資家やVCとのマッチング支援
- スタートアップ成功者等との交流
- 資金確保に向けたセミナーや資本政策講座等の開催
- 起業家教育に関する講座
- スタートアップを支援できる専門人材の育成 等

スタートアップ支援関連事業

| R 5 年度当初予算 | R 5 年度から実施(予定) | R 6 年度以降 (予定) |
|--------------------|------------------------|-----------------------------|
| スタートアップ支援戦略の策定 | | — |
| ピッチイベントの開催 (SHIP) | | ピッチイベントの開催 (SHIP) |
| TECH BEAT Shizuoka | | TECH BEAT Shizuoka |
| 大学発ベンチャー支援 | | 大学発ベンチャー支援 |
| インキュベートセンターの運営 | | インキュベートセンターの運営 |
| | スタートアップワンストップ 窓口の設置 | スタートアップワンストップ 窓口の設置 |
| | ネットワークの構築 (SEAs) | ネットワークの構築 (SEAs) |
| | ビジネスプランコンテスト | — |
| | | ビジコン入賞者に対する伴走支 援 |
| | | 《その他戦略における主な施策》 |
| | | 県内自治体や企業向けの ピッチイベント |
| | | 静岡の地域資源を活かした 実証の場の提供 |
| | | 「起業部」の創設 |
| | | 研究者と経営人材のマッチング 支援 |
| | | エンジェル投資家やVCとの マッチング支援 |
| | | スタートアップ成功者等との交 流 |
| | | 資金確保に向けたセミナーや資 本政策講座等の開催 |
| | | 起業家教育に関する講座 |
| | | スタートアップ支援者の育成 |